

業務連絡

2014/08/15 No.2

J R 東海 労新幹線 関西地本
業 務 部

7月30日、支社会議室において会社側幹事から組合側に対して「お知らせ」として来春に予定されている285キロ運転に向けての運転士への訓練についての連絡がありました。以下は、その時の「お知らせ」内容です。

「285キロ化が来春にされる予定です。それにあたって乗務員の皆さんに訓練を行います。

具体的には、運転士だけが対象です。8月の定例訓練において、どういう信号現示を示すのかや具体的な変更など机上訓練で8月中に訓練を行います。

それ以降、9月の下旬からハンドル訓練を必ず皆さん一区間を担当して頂きます。効率的な変行路を組んだりと検討しますが、皆さんがおおむね一区間を285キロを体感訓練出来るように行います。

具体的に誰がどの区間をというのは訓練時や勤務指定で皆さんにお知らせします。」

尚、今年の2月27日、会社は以下のようなマスコミ発表（社長会見）を行っています。

【東海道新幹線の速度向上について】

東海道新幹線では、速度向上による輸送サービスの向上を図るため、これまで 試験車両を用いた確認試験を実施してきました。このほど、必要な試験を終え、車両や設備の安全性、沿線環境、乗り心地などの面で良好なデータが得られましたので、鉄道事業法に基づき、最高速度の向上に関する事業基本計画変更の認可申請を国土交通省へ行いました。

認可をいただいた後、以下の計画で進めてまいります。

《速度向上等の概要》

1. 最高速度 : 285km/h (現行:270km/h)
2. 対象車両 : N700A及びN700系(改造)
3. 営業運転開始時期 : 平成27年春(予定)
4. 運行計画 : 平成27年春の時点では、おおよそ毎時1本の285km/h運転を目指します。その後、車両更新と改造工事の進展に合わせて、段階的に拡大する計画です。

「速度向上によるサービスの向上」は社員にとって安全・健康を脅かす効率化ではないでしょうか。机上での計画を強引に推し進めようとする姿勢にも多くの疑問や問題点があります。職場での疑問点・問題点を声に出して訴えていきましょう。